

ニュース高等専修

平成30年度 文部科学省委託事業 ～成果報告会～

□高等専修学校の機能高度化推進事業□

『学びのセーフティネット機能の充実強化』



成果報告会であい
さつする清水会長



あいさつする専修学校教育
振興室の美野喬志第二係長

平成30年度文部科学省委託・専修学校による地域産業中核的人材養成事業～学びのセーフティネット機能の充実強化(調査研究)～『高等専修学校の機能高度化に関する調査研究・高等専修学校と外部とのネットワーク化の推進』の合同成果報告会が2月27日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれました。

まず全国高等専修学校協会の清水信一会長があいさつしました。「高等専修学校も教育の無償化で私立高校と同じ扱いになります」という衆議院予算委員会における柴山文科大臣の発言を紹介、その上で「後期中等教育の中で、私たちの高等専修学校は重要な学種であり、高等専修学校でしかできない教育をしているという自負を持って、一つひとつの成果を社会にアピールしていきます」と語りました。

続いて文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室の美野喬志第二係長が「高等専修学校は、その柔軟な教育制度を生かした特色のある教育を各校において展開されている」と述べたあと、「特に社会での自立に向けた教育を行っている高等専修学校においては、発達障害や不登校の生徒を多数受け入れており、学びのセーフティネットに多大な貢献をいただいています」と高等専修学校の存在を高く評価しました。

合同成果報告会では、まず「平成30年度高等専



修学校の実態に関するアンケート調査」が大岡学園高等専修学校から報告されました。それによると、学びのセーフティネット機能の充実・強化について、「卒業予定者の求人確保に取り組んでいます」と回答した学校は全体の76.4%を占めていました。また「インクルーシブ教育」(障害のある子供とない子供が共に学ぶ教育)に取り組んでいる高等専修学校は回答校全体の49.1%も占めていました。

このあと、成果報告に移りました。テーマと発表校は次の通りです。

①「地域×生徒×農業—専修学校を核とし相互課題を解決するネットワーク構築—」(報告:猪名川甲英高等学院)

②「発達障害など特別に配慮が必要な生徒の社会自立のための教育・就労支援及び卒業後の定着フォロー支援モデル事業」(報告:武蔵野東高等専修学校)

③「高等専修学校で学ぶ生徒の自立を支援す

るための産学連携モデルの構築」(報告:野田鎌田学園高等専修学校)

④「高等専修学校生の社会的自立を支援する地域社会と連携したネットワークシステムの構築」(報告:豊野高等専修学校)

⑤「様々な問題を抱える高等専修学校生が社会人として定着するための地域ネットワークシステム構築事業」(報告:大阪技能専門学校)

⑥「地方都市で学ぶ高等専修学校生の経済的自立を支援する地域ネットワークシステムの構築」(報告:大岡学園高等専修学校)

成果報告の中で、各学校に共通した課題は「コミュニケーション能力の強化」ということでした。また経済的困窮家庭や不登校の生徒に対しては中学校や各行政と連携し、情報共有ネットワークの構築などが今後の課題として浮かび上がりました。

質疑応答のあと、文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室の長島雄大第二係が「各学校に置かれてはアンケートやヒアリング等を通して、本事業を推進する上で様々な課題を洗い出し、問題解決に向けた方向性を明確化していただきました。30年度にスタートした学びのセーフティネット事業が、問題解決へと向かうよう文科省としても、引き続き皆様の取り組みをサポートしていきます」などと講評を述べました。

(独)日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」に全ての高等専修学校生徒が加入しましょう。

【災害共済給付制度の特色】 ●低い掛金で厚い給付が行われます。●学校の責任の有無にかかわらず、給付の対象となります。●学校の責任において提供した食物による0-157等の食中毒、熱中症やいわゆる突然死も給付の対象となります。

第28回全国高等専修学校体育大会

熱戦繰り広げる 10競技36種目で



開会式であいさつする(左から)全国高等専修学校協会の清水信一会長、NPO高等専修教育支援協会の堀居英治理事長、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室・宮本二郎室長補佐

雄大な富士北麓でスポーツの祭典——。第28回全国高等専修学校体育大会(全国高等専修学校協会、NPO高等専修教育支援協会主催、全国高等専修学校協会体育振興委員会主管、文部科学省、山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、公益財団法人JKA、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会、専門学校新聞社後援)が7月23日から3日間、山梨県富士吉田市の富士北麓公園体育館をメイン会場に開かれました。

この体育大会は、高等専修学校相互の交流とスポーツを通して健全な精神の涵養、体力の向上などが目的です。職業教育に取り組む高等専修学校生にも、同年代の高校生と同様に、高校総体のような“夢舞台”を与えようと協会や教職員、選手が一体となり、手作りで実施しています。今回は公益財団法人JKAによる「競輪公益資金」の補助を受けて盛大に開催されました。

世界遺産の富士山が間近に迫る北麓公園体育館で開かれた開会式には、大会役員、選手ら約700人が出席しました。まず主催者を代表して全国高等専修学校協会の清水信一会長が「この会場は、来年日本で開かれるラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿として外国人選手が使

たら拾い、スリッパが乱雑なら揃えましょう。気持ち良く会場を使用してください。また熱中症に十分留意しながらベストを尽くしてください」とあいさつしました。

また、NPO高等専修教育支援協会の堀居英治理事長は「手作りで行う大会を支えてくださる来賓や関係者、保護者らに感謝の気持ちを伝えましょう」と呼びかけたあと、選手全員で「ありがとうございます」「よろしくお願いします」と大きな声であいさつを交わしました。

続いて来賓を代表して、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室の宮本二郎室長補佐が「将来の夢に向かい勉学に励むとともに、仲間と汗を流し、励まし合いながら過ごした時間は皆さんの一生の思い出となります。先生による厳しくも温かい指導のもと、一生懸命練習を重ねた成果を存分に発揮し、活躍することを期待します。さらに全国から集まった多くの仲間と語り、皆さんにとってこの大会が青春の一ページとなることを願います」と廣野宏正室長の祝辞を代読しました。

これに応じて、豊橋ファッション・ビジネス専門学校高等課程の福田拓海、大竹高等専修学

校の岡田紗歩の両選手が西日本豪雨の被災者にお見舞いを述べたあと「大会に関わるすべての方に感謝します。試合に出られない仲間の期待に応え、正々堂々と全力で尽くします」と選手宣誓を行いました。

今大会には福島、東京、神奈川、愛知、大阪、岡山など12都府県19校の選手が出場。軟式野球、フットサル、バスケットボール、陸上競技、自転車競技など10競技で熱戦が展開されました。

競技の結果、大竹高等専修学校が女子バスケットボール、同陸上競技4×100メートルリレー、同自転車競技、同駅伝競走、大和商業高等専修学校が軟式野球、フットサル、男女バドミントンの4種目を制したほか、町田調理師専門学校高等課程が男子バレーボール、同バスケットボールの2種目で有終の美を飾りました。このほか、安城生活福祉高等専修学校が女子バレーボール、生蘭高等専修学校が男子卓球、東放学園高等専修学校が女子卓球、富士コンピュータ専門学校高等課程が男子陸上競技4×100メートルリレー、専修学校中部国際自動車大学校高等課程が男子自転車競技、豊野高等専修学校がスポーツ吹矢、野田鎌田学園高等専修学校が男子駅伝競走でそれぞれ優勝しました。

なお、各競技の準優勝校には専門学校新聞社からトロフィーが贈られました。



成績結果

■軟式野球

①大和商業高等専修学校②生蘭高等専修学校

■バレーボール

【男子】①町田調理師専門学校高等課程②大竹高等専修学校

【女子】①安城生活福祉高等専修学校②大竹高等専修学校

■バスケットボール

【男子】①町田調理師専門学校高等課程②大竹高等専修学校③生蘭高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校②野田鎌田学園高等専修学校③安城生活福祉高等専修学校

■卓球

【男子】▶**団体**①生蘭高等専修学校②東朋高等専修学校
▶**個人**①大山流清(生蘭高等専修学校)②岩城滯(同)③小幡光輝(同)松浦大翔(東朋高等専修学校)

【女子】▶**団体**①東放学園高等専修学校②野田鎌田学園杉並高等専修学校

▶**個人**①山口めぐみ(安城生活福祉高等専修学校)②三原里菜(同)③武田未来(生蘭高等専修学校)宇都宮咲希(安城生活福祉高等専修学校)

■自転車

【男子】▶**団体**①専修学校中部国際自動車大学校高等課程②野田鎌田学園高等専修学校

▶**個人**①神谷隼輝(専修学校中部国際自動車大学校高等課程)②小木曾聖人(同)③大西将達(野田鎌田学園高等専修学校)

【女子】▶**団体**①大竹高等専修学校

▶**個人**①落合通(大竹高等専修学校)②下田瞳羽(同)③天野結子(同)

■フットサル

①大和商業高等専修学校②富士コンピュータ専門学校高

等課程

■バドミントン

【男子】▶**団体**①大和商業高等専修学校②豊橋ファッション・ビジネス専門学校高等課程

▶**個人**①野村海斗(大竹高等専修学校)②福田拓海(豊橋ファッション・ビジネス専門学校高等課程)③酒井佑多(町田調理師専門学校高等課程)渋井健斗(大和商業高等専修学校)

【女子】▶**団体**①大和商業高等専修学校②大竹高等専修学校

▶**個人**①袁島瑠華(町田調理師専門学校高等課程)②山内果菜(大竹高等専修学校)③田中涼楓(東放学園高等専修学校)力武楓(大和商業高等専修学校)

■スポーツ吹矢

▶**団体**①豊野高等専修学校②生蘭高等専修学校

▶**個人**①酒井優樹(豊野高等専修学校)②伊藤大地(生蘭高等専修学校)③江上諒(大和商業高等専修学校)

■駅伝競走

【男子】①野田鎌田学園高等専修学校②武蔵野東高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校

■陸上

▶種目別成績結果

【男子】▶**100m決勝**①専徒太陽(富士コンピュータ専門学校高等課程)②秋山峻登(細谷高等専修学校)③川村拓斗(富士コンピュータ専門学校高等課程)

▶**400m決勝**①岩崎蒼(武蔵野東高等専修学校)②土屋貴寛(野田鎌田学園高等専修学校)③平田和雅(大和商業高等専修学校)

▶**800m決勝**①川村拓斗(富士コンピュータ専門学校高等課程)②西本青空(東朋高等専修学校)③鈴木悠斗(郡山学院高等専修学校)

▶**1500m決勝**①下田元晴(富士コンピュータ専門学校高等課程)②西本青空(東朋高等専修学校)③小野山智久(大岡学園高等専修学校)

▶**走り幅跳び**①秋山峻登(細谷高等専修学校)②大坪竜也(大竹高等専修学校)③伊藤聖人(大和商業高等専修学校)

▶**砲丸投げ**①馬場虎太郎(野田鎌田学園高等専修学校)②大熊優樹(同)③曹雪強(大和商業高等専修学校)

▶**4×100mリレー決勝**①富士コンピュータ専門学校高等課程②大竹高等専修学校③野田鎌田学園高等専修学校

【女子】▶**100m決勝**①須藤舞(生蘭高等専修学校)②下田瞳羽(大竹高等専修学校)③落合通(同)

▶**400m決勝**①東瑠佳(大和商業高等専修学校)②川津羅歩奈(東朋高等専修学校)③野村香菜子(同)

▶**800m決勝**①天野結子(大竹高等専修学校)②白井沙凜(同)③石丸佳奈(同)

▶**1500m決勝**①天野結子(大竹高等専修学校)②白井沙凜(同)③石丸佳奈(同)

▶**走り幅跳び**①須藤舞(生蘭高等専修学校)②東瑠佳(大和商業高等専修学校)

▶**砲丸投げ**①東瑠佳(大和商業高等専修学校)②落合通(大竹高等専修学校)③須藤舞(生蘭高等専修学校)

▶**4×100mリレー決勝**①大竹高等専修学校②東朋高等専修学校

平成30年度 高等専修学校への都道府県の助成状況

県名	運営費補助 @…生徒一人あたり	設備費 補 助	生徒へ の助成	授業料 軽減	本会 会員校数	H30 高等課程 生徒数
☆ 北海道	学校法人立指定校・技能連携校 @64,026 円 その他学校法人立 @40,459 円		○	○	4	947
☆ 青 森	学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @28,582 円 非学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @12,926 円		○	○		208
岩 手	学校法人立 @35,960 円		○		3	126
☆ 宮 城	学校法人立指定校 1校 60万円と @33,215 円 その他学校法人立 @20,653 円	○				211
秋 田			○			84
☆ 山 形	学校法人立指定校・技能連携校 @74,848 円 学法立以外 @11,311 円		○	○	2	35
	私立高等学校等特別支援教育事業補助金 高等課程（特別支援教育支援員の配置）@1,800,000円×1校					
☆ 福 島	学校法人立指定校 @47,000 円 その他学校法人立 @23,500 円 非学校法人立指定校 @15,600 円 その他非学校法人立 @ 7,800 円			○	7	858
茨 城	学校法人立 @75,000 円		○	○	1	646
栃 木	学校法人立 専修学校及び各種学校総額 39,330千円				2	511
群 馬	学校法人立・財団法人立指定校 @80,400 円 学校法人立・財団法人立非指定校 @20,040 円		○	○	3	335
☆ 埼 玉	法人立 @79,510 円		○	○	2	773
☆ 千 葉	学校法人立 @176,653 円		○	○	4	743
☆ 東 京	学校法人立 @161,300 円 非学校法人立 @53,700 円 私立専修学校特別支援教育事業費補助金（1） @759,000 円	○	○	○	19	2,819
☆ 神奈川	学校法人立 @160,657 円 非学校法人立 @22,100 円			○	7	1,259
☆ 新 潟	学校法人立 @22,800 円		○	○		148
富 山		○	○			182
石 川	学校法人立指定校・非指定校含む @35,900 円	○	○			43
福 井	学校法人立指定校 @45,000 円			○	2	80
山 梨	学校法人立（県内生） 1校 50万円と @ 4,000 円 学校法人立（県外生） 1校 50万円と @ 2,000 円					82
長 野	学校法人立（3年制一般補助） @46,440 円 学校法人立（3年制特別補助として加算） @45,000 円		○	○	1	241
☆ 岐 阜	学校法人立技能連携校 @61,722 円		○	○	5	610
☆ 静 岡	学校法人立 @92,600 円	○	○		11	1,339
☆ 愛 知	学校法人立 @137,747 円 非学校法人立 1校 978,600 円		○	○	27	7,586
☆ 三 重	学校法人立指定校 1校 15万円と @29,300 円 学校法人立非指定校 @19,470 円		○	○		806
滋 賀	学校法人立技能連携校 @80,000 円		○		1	80
京 都	学校法人立（修業年限3年以上） 1校 270万円 ① 学校法人立（修業年限3年未満） 1校 230万円 ② 複数学科加算分 1学科 55万円 ③	○	○	○		430
☆ 大 阪	学校法人立 @308,200 円	○	○	○	23	5,074
☆ 兵 庫	学校法人立大学入学資格付与校 @142,205 円		○	○	20	1,584
奈 良	学校法人立 1校 120万と @35,500 円			○	5	170
和歌山	学校法人立 @30,000 円	○				58
鳥 取	（専修学校全体）16校 総額 8,575万5千円			○	7	305
☆ 島 根	学校法人立指定校 @105,535 円 学校法人立非指定校 @19,015 円	○		○		143
岡 山		○	○		2	272
広 島	学校法人立（3年制） @36,000 円			○	5	948
☆ 山 口	学校法人立指定校 @74,000 円		○	○	2	449
徳 島			○	○	1	223
香 川			○			173
愛 媛				○		189
高 知	学校法人立 @21,160 円			○	1	29
福 岡	学校法人立指定校 @22,500 円	○	○		4	2,328
☆ 佐 賀	学校法人立 @12,500 円		○	○	3	728
長 崎	学校法人立 @6,300 円					407
熊 本	学校法人立指定校 @15,000 円		○	○	4	768
大 分						387
☆ 宮 崎	学校法人立 @273,200 円		○		2	580
鹿児島	（学校法人立専修学校全体） 総額 3,322万1千円				2	51
沖 縄	学校法人立指定校 @ 70,000 円			○	2	230

(1) 交付年度5月1日現在障害児が在籍。

(☆印は前年度比単価等が増額した都道府県)

H30 会員校数

184

H30 生徒数

36,278

発行：全国高等専修学校協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25(私学会館別館)

TEL.03(3230)4814 FAX.03(3230)2688